

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	地球環境保全試験研究費	担当部局庁	地球環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度・(終了予定なし)	担当課室	総務課研究調査室	室長 辻原 浩			
会計区分	一般会計	施策名	2-3 地球環境保全に関する調査研究				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	環境省設置法第4条第3号	関係する計画、 通知等	京都議定書目標達成計画				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	地球環境保全試験研究費(H13年度～) →地球温暖化問題の解決に資する科学的知見の集積を通じ、行政課題の解決を科学的側面から支援するもので、温暖化とその影響の長期観測を行うことで、温暖化とその影響の予測・評価に役立て、原因対策や影響対策立案の基礎とする。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	関係行政機関及び関係行政機関の試験研究機関が実施する地球環境の保全に関する試験研究について、効率的かつ総合的な試験研究計画等の推進を図るため、環境省設置法第4条第3号の規定に基づき、関係予算を一括計上し、予算成立後関係行政機関へ移し替えることにより、試験研究の一元的推進を図るもの。 本事業における研究は、中長期的視点も踏まえ、計画的・着実に進めるべきものであり、観測結果等の成果は、地球温暖化対策をはじめ地球環境政策の立案・実施に科学的基盤を与えるものである。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予 算 の 状 況	当初予算	316	314	302	270	280
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	316	314	302	270	280
	執行額	307	310	301	-	-	
執行率(%)	97%	99%	99%	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (各年度)
	終了翌年度に実施する事後評価(5点満点)で4点以上を獲得した課題数(4点以上の課題数/全評価対象課題数)	成果実績	-	75% (3/4)	100% (1/1)	80% (4/5)	50%以上
		達成度	%	100%	100%	100%	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	モニタリング研究課題数	活動実績 (当初見込み)	%	12	12 (-)	13 (13)	- (13)
		算出根拠	単位当たりコスト=執行額/モニタリング研究課題数				
単位当たり コスト	H23:23.1(百万円/課題)						
平成24 - 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	試験研究調査委託費	232	247	研究成果の評価及び今後の進め方の検討に要する経費として試験研究調査委託費の増額要求を行ったため。試験研究費及び職員旅費は、効率化を行ったため減となっている。			
	試験研究費	35	31				
	職員旅費	3	2				
	計	270	280				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国際的な分業・協力体制の下での地球環境モニタリングなど、金銭的利益を目的とせず、国内及び全球規模で継続的に実施するもの。地球温暖化対策をはじめ地球環境政策の立案・実施に不可欠のものであり、国の責任で行う必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	本事業は、事業開始前の「事前評価」、事業中間年の「中間評価」、事業終了後の「事後評価」を利害関係者を排除した外部評価委員による厳正な評価を実施している。これら評価において、資金の流れ等を含めた評価を行い、評価結果に応じた予算の増減を行い、予算の効率的効果的執行に努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本事業を構成する試験研究モニタリングについては、課題ごとに各年度ごとの達成目標、実施方法等を内容とする研究計画を作成している。外部評価委員による評価において、研究計画や実施状況、成果の普及等について評価を行うとともに、評価結果を踏まえた研究計画の再検討を行いながら、事業を実施している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>持続的な地球環境モニタリングは、地味ではあるが、我が国の国際貢献の最主要の分野の一つであり、本事業は、長期継続モニタリングの一翼を担い、国際貢献も多大である。</p> <p>本事業は、事業開始前の「事前評価」、事業中間年の「中間評価」、事業終了後の「事後評価」を利害関係者を排除した外部評価委員による厳正な評価を実施している。</p> <p>特に事前評価、中間評価の際には、評価結果をふまえ、研究課題毎の予算を増減させ、メリハリのある事業実施をしている。</p> <p>このような厳正な評価を引き続き行う。</p> <p>例えば、H23年度中間評価の場合、3課題の評価があり、そのうち、評点が4点(5点満点中)未満である課題については、前年度から5%の減額としている。その一方、評点が4点(5点満点中)以上である課題については、前年同額としている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き、事前評価、中間評価、事後評価を実施し、効率的かつ効果的に予算を執行する必要がある。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	041	平成23年行政事業レビュー	026

※平成23年度実績を記入

環境省  
301百万円

地球環境保全試験研究費

【内容】

地球環境保全に関わる関係行政機関の試験研究機関の経費及び関係行政機関の試験研究委託費のうち地球温暖化問題の解決を主たる目的とする経費を一括して計上。  
応募のあった研究課題の中から、外部専門家からなる地球環境研究企画委員会の評価に基づき、課題の選定及び当該経費の配分の策定が行われる。

【公募/委託】

A. (独)国立環境研究所  
193百万円

【予算の移替】

厚生労働省 13百万円  
農林水産省 40百万円  
経済産業省 12百万円  
国土交通省 43百万円

平成23年度地球環境保全試験研究費による研究委託業務  
【業務内容】  
①アジア陸域炭素循環観測のための長期生態系モニタリングとデータのネットワーク化促進に関する研究  
②タワー観測ネットワークを利用したシベリアにおけるCO2とCH4収支の推定  
③アジア・オセアニア域における微量温室効果ガスの多成分長期観測  
④東アジアにおけるハロカーボン排出実態解明のための高頻度・高精度モニタリング研究  
⑤二酸化炭素の全球収支解明のための大気中酸素および炭素同位体の長期観測研究  
⑥日本における森林土壌有機炭素放出に及ぼす温暖化影響のポテンシャル評価に関する研究  
⑦民間航空機によるグローバル観測ネットワークを活用した温室効果ガスの長期変動観測  
⑧海洋表層CO2分圧観測国際データベース形成と海洋CO2交換広域推定に関する研究  
⑨南鳥島における微量温室効果ガス等のモニタリング

【国立研究所実施】

職員旅費：2百万円  
試験研究旅費：0.5百万円  
外国旅費：0.5百万円  
試験研究費：35百万円

【公募・委託費】

農水省：(独)農業環境技術研究所 3百万円  
(独)森林総合研究所 37百万円  
経産省：(独)産業技術総合研究所 12百万円  
国土省：(独)海上技術安全研究所 18百万円  
国立大学法人北海道大学 0.3百万円

※端数処理の関係で合計と一致しない。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

【外注/一般競争入札】

B. (財)地球・人間環境フォーラム  
11百万円

【業務内容】

シベリアにおけるタワーを用いた温室効果期待観測システムの維持・管理業務

【外注/一般競争入札】

C. (財)地球・人間環境フォーラム  
3百万円

【業務内容】

アジア・オセアニア航路での大気観測支援業務

【外注/一般競争入札】

D. (財)地球・人間環境フォーラム  
3百万円

【業務内容】

TRANS FUTURE1号による大気観測支援事業

【外注/随意契約(少額)】

E. 紀本電子工業株式会社  
0.4百万円

【業務内容】

TRANS FUTURE1号における大気観測設備整備作業

【外注/随意契約(少額)】

F. 国立大学法人 静岡大学  
1百万円

【業務内容】

土壌呼吸温暖化操作実験サイトの保守等とデータ回収に係る業務

【外注/随意契約(参加者確認公募)】

G. 株式会社ジャムコ  
22百万円

【業務内容】

航空機搭載用温室効果気体観測装置の整備

【外注/随意契約(参加者確認公募)】

H. 日本航空株式会社  
10百万円

【業務内容】

航空機への観測装置搭載搬出作業および手動サンプリング装置による試験観測

【外注/随意契約】

I. 国立大学法人北海道大学  
1百万円

【業務内容】

日本における森林土壌有機炭素放出に及ぼす温暖化影響のポテンシャル評価に関する研究業務

【外注/随意契約】

J. 国立大学法人名古屋大学  
1百万円

【業務内容】

二酸化炭素の全球収支解明のための大気中酸素及び炭素同位体の長期観測研究業務

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.(独)国立環境研究所			F.国立大学法人 静岡大学		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	特別研究員、高度技能職員等	26	雑役務費	土壌呼吸温暖化操作実験サイトの保守等とデータ回収に係る業務	1
	旅費	試験研究旅費、外国旅費等	6	計		1
	備品費	二酸化炭素/メタン/一酸化炭素/水分アナライザー等	10			
	消耗品費	連続測定機器用消耗品類等	37			
	通信運搬費	サンプル運搬等	2			
	借料及び損料	レンタカー借り上げ等	5			
	賃金	観測データ整理及び解析補助等	23			
	雑役務費	修理・保守業務、学会参加費等	7			
外注費	シベリアにおけるタワーを用いた温室効果期待観測システムの維持・管理業務等 ※端数処理の関係で各外注先への支出額の合計と一致しない	51				
その他	一般管理費、消費税	26				
計		193				
	B.(財)地球・人間環境フォーラム			G.株式会社ジャムコ		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
雑役務費	シベリアにおけるタワーを用いた温室効果期待観測システムの維持・管理業務	11	雑役務費	航空機搭載用温室効果気体観測装置の整備	22	
計		11	計		22	
	C.(財)地球・人間環境フォーラム			H.日本航空株式会社		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
雑役務費	アジア・オセアニア航路での大気観測支援業務	3	雑役務費	航空機への観測装置搭載搬出作業および手動サンプリング装置による試験観測	10	
計		3	計		10	
	D.(財)地球・人間環境フォーラム			I.国立大学法人 北海道大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
雑役務費	TRANS FUTURE1号による大気観測支援事業	3	雑役務費	日本における森林土壌有機炭素放出に及ぼす温暖化影響のポテンシャル評価に関する研究業務	1	
計		3	計		1	
	E. 紀本電子工業株式会社			J.国立大学法人 名古屋大学		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)	
雑役務費	TRANS FUTURE1号における大気観測設備整備作業	0.4	雑役務費	二酸化炭素の全球収支解明のための大気中酸素及び炭素同位体の長期観測研究業務	1	
計		0.4	計		1	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	平成23年度地球環境保全試験研究費による研究委託業務 ①アジア陸域炭素循環観測のための長期生態系モニタリングとデータのネットワーク化促進に関する研究 ②タワー観測ネットワークを利用したシベリアにおけるCO2とCH4収支の推定 ③アジア・オセアニア域における微量温室効果ガスの多成分長期観測 ④東アジアにおけるハロカーボン排出実態解明のための高頻度・高精度モニタリング研究 ⑤二酸化炭素の全球収支解明のための大気中酸素および炭素同位体の長期観測研究 ⑥日本における森林土壌有機炭素放出に及ぼす温暖化影響のポテンシャル評価に関する研究 ⑦民間航空機によるグローバル観測ネットワークを活用した温室効果ガスの長期変動観測 ⑧海洋表層CO2分圧観測国際データベース形成と海洋CO2交換広域推定に関する研究 ⑨南鳥島における微量温室効果ガス等のモニタリング	193	競争的資金	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地球・人間環境フォーラム	シベリアにおけるタワーを用いた温室効果果期待観測システムの維持・管理業務	11	1	99%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地球・人間環境フォーラム	アジア・オセアニア航路での大気観測支援業務	3	1	99%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地球・人間環境フォーラム	TRANS FUTURE1号による大気観測支援事業	3	1	99%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	紀本電子工業株式会社	TRANS FUTURE1号における大気観測設備整備作業	0.4	随意契約 (少額随契)	-

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人 静岡大学	土壌呼吸温暖化操作実験サイトの保守等とデータ回収に係る業務	1	随意契約 (少額随契)	-

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ジャムコ	航空機搭載用温室効果気体観測装置の整備	22	随意契約 (参加者確認公募)	-

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本航空株式会社	航空機への観測装置搭載撤出作業および手動サンプリング装置による試験観測	10	随意契約 (参加者確認公募)	-

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人 北海道大学	日本における森林土壌有機炭素放出に及ぼす温暖化影響のポテンシャル評価に関する研究業務	1	随意契約	-

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人名古屋大学	二酸化炭素の全球収支解明のための大気中酸素及び炭素同位体の長期観測研究業務	1	随意契約	-